

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

岸和田徳洲会訪問看護ステーション かいづか支所
竹内 千代美

目標

1. 多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
2. 泉州地域の住民に対して、訪問看護の周知と同時にACP啓発活動が出来る
3. 訪問看護未経験者や学生に対し、体験研修をすすめ、訪問看護に従事する看護師を増やす
4. 非会員に向けての研修の声掛けやお会いする機会を作り泉州ブロックの会員を増やす

計画

- (1) 研修事業・・・・・・・・・・集合研修1回開催
- (2) 府民への相談支援事業・・・地域の高齢者の集うイベントへの参加、チラシ配布
- (3) 訪問看護体験研修事業・・・看護業務 目標10件・管理業務 目標1件
- (4) 電話FAX相談Q&A事業・・・・目標20件
- (5) コンサルテーション 褥瘡、ストマ管理、嚥下障害、ターミナルケア、認知症看護、小児看護の相談や実際に訪問しての対応策を検討

実践内容

- (1) 研修事業・・・・・・・・・・集合研修1回（ACP研修）
- (2) 府民への相談支援事業・・・・・・・・イベント参加1回
- (3) 訪問看護体験研修事業・・・・・・・・看護業務 8件・管理業務 2件
- (4) 電話相談事業・・・・・・・・・・31件
- (5) コンサルテーション事業（実践なし）
- (6) 協ラストーション

出水クリニック、にしだJクリニック、訪問看護ステーション希望、訪問看護ステーションれば
訪問看護ステーションあったかい、訪問看護ステーションてとてと、訪問看護ステーション和音
つながる訪問看護ステーション、ふちゅう訪問看護ステーション、あいわ園訪問看護ステーション
こころあ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションTERRACE

・協力NS 訪問看護認定看護師 （出水クリニック：菊谷NS）

皮膚排泄ケア認定看護師（つながる訪問看護ステーション：加藤NS）

(1) 研修事業

2024.10.19 (土) 14:00~17:00

テーマ: 「人生会議 (ACP)」 支援実践

人材育成研修

場所: テクスピア大阪 (泉大津)

定員: 50名 参加人数: 34名

令和6年度 大阪府人生会議相談対応支援事業
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
東亜プロフェッショナル教育ステーション
岸和田徳洲会訪問看護ステーションかいづか支所



参加費
無料

「人生会議 (ACP)」支援実践 人材育成研修のご案内

「人生会議 (ACP)」の実践に必要な基本的概念や
知識・方法がわかる

日時 10/19 (土) 14:00~17:00

受付、開場: 13:30~

場所 テクスピア大阪 (泉大津) 402会議室

南海泉大津駅より徒歩5分 公共交通機関ご利用にご協力ください

定員	50名 定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます
対象	地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職の方 (例) 看護師、セラピスト、MSW、ケアマネジャー、介護士、医師、看護学生等
内容	講義、グループワーク (ロールプレイ) 講師: 濱吉 美穂氏 (助産) (佛医大学保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域)
会場	〒595-0025 泉大津市旭町22-45 TEL 0725-31-4402 ※有料駐車場あり、3時間無料その後¥100/30分 駐車券を会議室へ持参ください
担当	岸和田徳洲会訪問看護ステーションかいづか支所 (担当: 竹内) TEL: 072-432-4852

申込締切
10月5日

申込方法

右側のQRコードを読み取り、申し込みフォームよりご参加ください



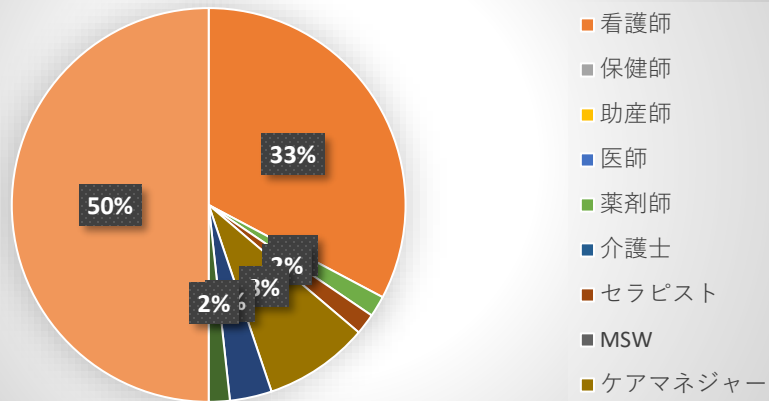
(1) 研修事業

アンケート結果

参加者	34名
アンケート回答者数	29名

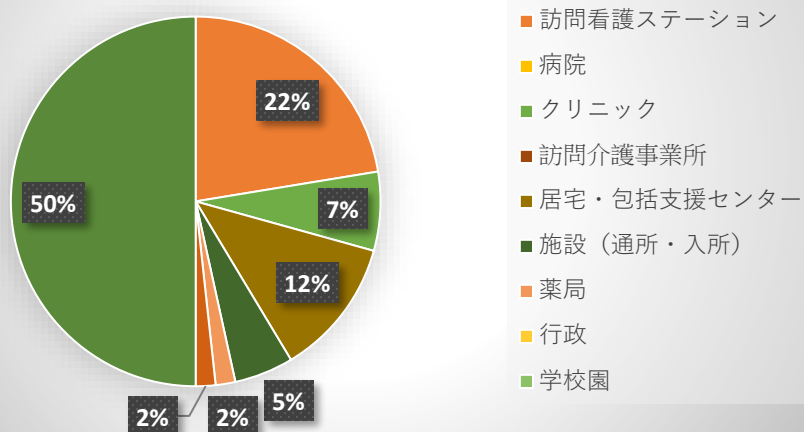
回答29名

現在の主となる職種



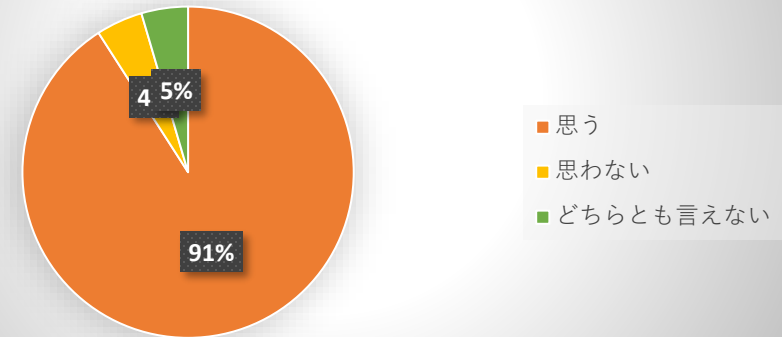
回答29名

現在の主となる所属先



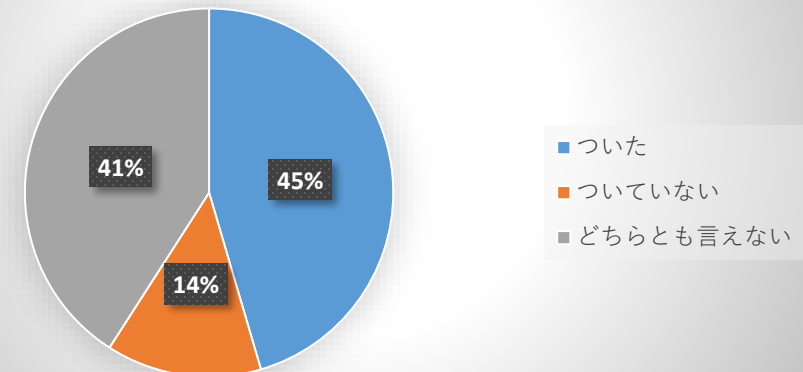
回答22名

今後、「人生会議(ACP)」を实践しようと思うか。



回答22名

本日研修を受けて、「人生会議(ACP)」の实践の自信はついたか



・ 研修事業全体を通しての気づき

看護師をはじめ他職種の方が集まることで、ACPに関して知識を共有することができ、
いろいろな立場からの考え方を理解するきっかけになったと思う。

参加者からも参加して良かったという意見もいただけ良かったが、
参加者が50名に満たなかったことは残念であり広報の時期や方法について、
協力ステーションの皆さんの協力を得て、
もっと早めに取り組まなければならなかったと反省している。

(2) 府民への相談支援事業

<内容>

2024. 12. 1 地域の高齢者の方の集会に参加

テーマ：「ご存知ですか？訪問看護」

対象地区：貝塚市清名台地区



(2) 府民への相談支援事業

<内容>

方法と結果：

高齢者の方の集まるイベント（お楽しみ会）に参加させていただき、チラシを配布し訪問看護の説明と質問対応をした。

何件かご家族や本人の健康相談があった。訪問看護介入のまではいかなかったが、相談できるところがあると安心だというお声もあった。

人生会議については、大阪府からのパンフレットの紹介をした。

まちの保健室での健康相談や訪問看護紹介での参加を予定していたが、主催者側の都合で中止になったり、業務上の折り合いがつかず、実施できなかった。

（２）府民への相談支援事業

<内容>

府民への相談事業全体を通しての気づき：

高齢者の集まるイベントではわかりやすいチラシが好まれ、
話し方など興味を引くやり方の工夫が必要であるとわかった。

一人で取り組んでしまったが、

この事業も協働ステーションの力を借りるべきだったと反省している。

(3) 訪問看護体験研修事業

実績：

① 看護業務：8名（・病棟看護師 1名・訪問看護師 3名・看護学生 4名）

② 管理業務：2名（ST開設初期の管理者・小児特化の訪問看護ST管理者 各1名）

・訪問看護体験研修事業全体の気づき（効果や課題）

①看護業務について

実際訪問することで、在宅ならではのケアの方法であったり、利用者様本位の訪問に心掛け、信頼関係を築くことの大切さや高いコミュニケーション力の必要性を知ることができたという感想が多く、受け入れて下さったステーションさんのスキルの高さを感じ、今後も共有が出来ればいいと思った。

訪問看護の経験のない看護師や学生に自宅で自分らしく療養されている利用者様の姿を見て頂き、訪問看護の寄り添い方に共感してもらえることができたので、これからも体験研修事業は続けていくべきだと思う。

（３）訪問看護体験研修事業

実績：

① 看護業務：8名（・病棟看護師 1名・訪問看護師 3名・看護学生 4名）

② 管理業務：2名（ST開設初期の管理者・小児特化の訪問看護ST管理者 各1名）

・訪問看護体験研修事業全体の気づき（効果や課題）

①管理業務について

スタッフ管理、訪問シフト、保険制度、請求業務、地域連携など基本的な事を伝達してもらえたり、自分のステーションにはいない症例も経験でき、新しく管理者になられた方に対して、大変役立つことができた。

新しい発見があると思うので、次年度も管理者の研修を積極的に進めていきたい。

(4) 電話FAX相談Q&A事業

〈 窓口時間 〉 月曜日～金曜日 10:00 ～ 16:00

〈 広報方法 〉 チラシを作成し非会員を含めたステーションや居宅支援事業所へFAX又は送付した

〈担当者〉 泉南ブロック教育ステーション事業担当 : 岸和田徳洲会訪問看護ステーション かいづ
か支所 竹内

協力ステーション 西田Jクリニック 菊池氏

〈目標数 20件 実績 31件

〈相談内容〉 報酬内容 8件・実務内容 16件・指示書/記録関係 8件・精神科関連 7件・人材育成/スタッフ教育 1件

・電話FAX相談事業全体を通しての気づき（効果や課題等）

FAX相談は1件もなく全て電話相談であった。意外と参考書籍をお持ちでない事業所が多かったのにはおどろいた。相談頂くことで改めて調べたりして自分自身にとっても勉強になり役立つことも多かった。報酬の相談に関しては事務の方からの相談も多かった。相談頂いたステーションとは電話でのお答えをすることで、お互い横のつながりを持つきっかけができたことを実感できた。

地域における協力体制についての気づき

協力ステーション12ステーションは、研修の告知や開催に関して、積極的に協力（参加）してくれますが、会員であっても、協力（参加）率は低く、なかなか協力を得られないブロックであると感じた。

ブロック会議の度に教育ステーションの取り組みの進捗状況など、お話をさせていただいているが、反応も薄い現状である。どうしたらもっと協力してもらえるのか・・・

一方、協力ステーションの体制は、構築できつつあるので、興味深い研修にできるようにと、声掛けの仕方等、参加率が上がるよう話し合い、協力ステーションを中心にしっかり考えていくことが課題と考える。

設定した目標の評価

1. 多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する。

研修の進行においての時間配分などの課題が多く残り成功とはいかなかった。参加率も68%と低く、地域での定着を促進には至らなかった。

2. 泉州地域の住民に対して、訪問看護の周知と同時にACOの啓発活動が出来る

限られたエリアではあるが、まだまだ訪問看護を知らない住民への訪問看護の周知の目標は達成できたと思う。ACPに関してはチラシの紹介しかできておらず啓発活動には及ばなかった。

3. 訪問看護未経験看護師や学生に対し、体験研修をすすめ、訪問看護に従事する看護師を増やす。

学生の体験者や訪問看護未経験の看護師からは、在宅での看護の特性や、やりがいの大きさを実感することができ、訪問看護への興味が更に増し、訪問看護への従事を期待する。

4. 非会員に向けての研修の声掛けやお会いする機会を作り、泉州ブロックの会員を増やす

なかなか会員を増やすことにはなっていないが、電話相談対応でのやり取りの中で親しくなる機会もあり、地道に声掛けをしていく必要性を感じた

教育ステーション事業全体の効果と次年度の課題

- ・事業全体の効果は、まずは協力ステーションの確立が出来たことが良かったと思う。今回2回目の教育ステーション事業であったが、前回に比べ、やっと色々な事が見えてきて、協力ステーションの助けがあり、気持ち的にも、皆で頑張っている感を感じることができた。

日々の業務の中でのミッションは困難なことも多かったが、事業へのとりかかりが遅くなったのが原因と自覚できた。

引き続き2025年度も教育ステーション事業をさせていただくこととなったので、この反省を踏まえて活動できるよう努力したいと思っている。

信頼できる協力ステーションの仲間を頼って一緒に頑張りたいと強く思う。